

# 防災・吸音メッシュ シェディスクリーン®



材質 基布:ポリエステル100% 樹脂:塩化ビニル (PVC)

用途 膜天井・吸音材・スクリーン・シェード

## 吸音性

高い吸音率を実現  
3000AT:NRC値0.61  
4000N:NRC値0.68

## デザイン性

タテ糸・ヨコ糸の  
自由な色の  
組み合わせにより  
多様なデザインが可能  
※別注色・別注巾(最大3m巾)は  
ロット500mより承ります。

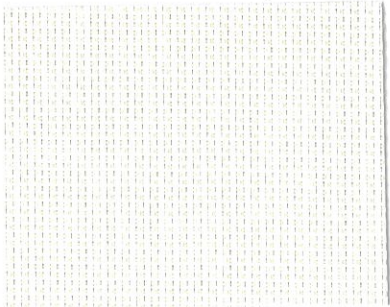
## シックハウス 対策

文部科学省の  
学校環境衛生の  
基準に対応

## 防災性

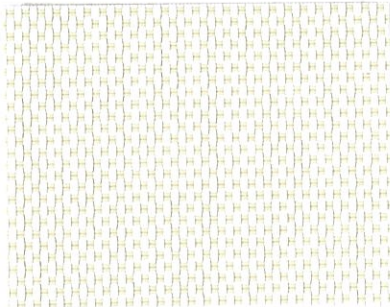
(財)日本防災協会  
認定品

## シェディスクリーン® 3000AT

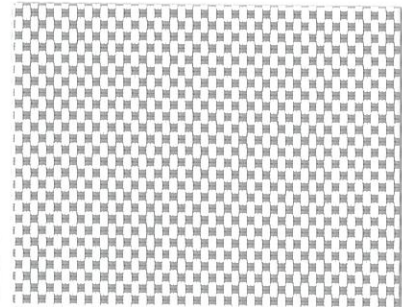


●ホワイト/ベージュ  
[遮光率86%][UVカット率99%]

## シェディスクリーン® 4000N



●ホワイト/ベージュ  
[遮光率90%][UVカット率99%]



●ホワイト/グレー  
[遮光率95%][UVカット率99%]

## シェディスクリーン® 吸音のしくみ



普段、私達が室内で聞こえる音には音源から直接聞こえる直接音と発生した音が壁等に反射して聞こえる反響音があります。

シェディスクリーン®は、壁面や天井面との間に空間を持たせることで、吸音性を発揮します。シェディスクリーン®の微細な孔が、音のエネルギーを吸収し、より小さい音として膜の裏側に透過し、膜の裏側で反響した音は、再び膜に当たることで微細孔のエネルギー吸収により、さらに小さい音になります。膜の裏面にある空間が大きいほど、吸音性が増します。

シェディスクリーン®は、1mm以下という厚さでありながら、低音から高音まで幅広く吸音します。室内に反響するさまざまな音を吸収し、直接耳に入る会話の声を明瞭に聴き取ることができます。ホールや工場内防音対策など、反響音を抑えたい場所に使用できます。



平岡織染株式会社

## ■物性データ

	幅 (cm)	長さ (m)	質量 (g/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	引張強さ	伸度 (%)	引張強さ (N)	防災製品番号 (公財)日本防災協会
					(N/3cm)			
シェディスクリーン® 3000AT	200	30	450	0.56	1100×1000	29×25	110×80	F-29075
シェディスクリーン® 4000N	200	30	600	0.84	1550×1100	33×26	220×120	F-27244
JIS L 1096					JIS L 1096 A	JIS L 1096 A	JIS L 1096 C	

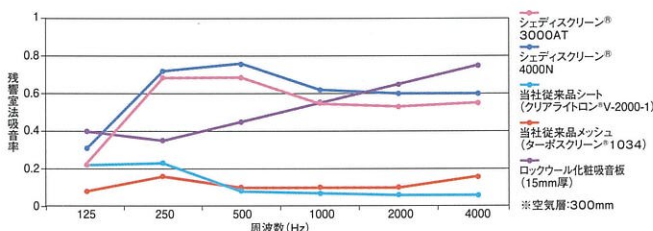
※上記データは測定値であり保証値ではありません。

## ■吸音率データ

N.R.C.とは 250Hz、500Hz、1000Hz、2000Hzでの吸音率の平均値

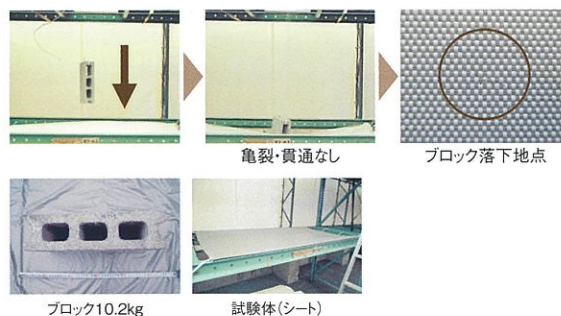
周波数 (Hz)	シェディスクリーン® 3000AT	シェディスクリーン® 4000N	当社従来品シート (クリアライトロン® V-2000-1)	当社従来品メッシュ (ターボスクリーン® 1034)	ロックウール 化粧吸音板 (15mm厚)
N.R.C.	0.61	0.68	0.11	0.12	0.50
125	0.21	0.30	0.22	0.08	0.40
250	0.67	0.72	0.23	0.16	0.35
500	0.68	0.76	0.08	0.10	0.45
1000	0.55	0.62	0.07	0.10	0.55
2000	0.53	0.60	0.06	0.10	0.65
4000	0.55	0.60	0.06	0.16	0.75

※上記データは測定値であり保証値ではありません。



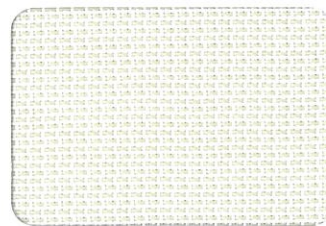
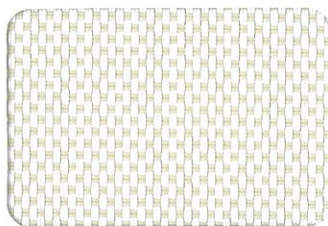
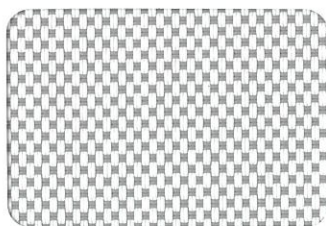
## ■落下試験データ

膜天井への屋根部構成材の破片等の落下を想定し、試験体(シート)に1.0mの高さから10.2kgのコンクリートブロックを落とす実証試験を行いました。(※試験方法:当社法)



### 結果

シェディスクリーン®3000AT、  
シェディスクリーン®4000Nは  
亀裂、貫通はありませんでした。



## 注意事項

1. 本カタログに記載している製品は日本国内向けのものです。
2. 使用前に必ず品名・品番・色相・ロットNo.・規格を確認してください。
3. 保管は、高温・多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長時間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無を確認してください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、これらの用途に使用の場合は必ず弊社まで相談してください。
6. 熱融着による接合の際は、臭気が発生することがありますので、必ず作業場を換気してください。
7. 高周波ウェルダで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますので、ウェルダバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
8. 縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
9. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等でふき取り、十分に水洗いし乾燥してから使用してください。
10. サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いがある場合があります。予めご了承ください。
11. 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNo.の使用をおすすめします。
12. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
  - (1) 廃棄物処理法、都道府県条例等に従ってください。
  - (2) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
13. 質問、問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、代理店または弊社まで連絡してください。
14. 本カタログの記載内容は改善のため事前に予告なしに変更することがあります。



平岡織染株式会社 HIRAOKA & CO., LTD. <http://www.tarpo-hiraoka.com/>

東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7 TEL.03-3876-2111 FAX.03-3875-5627  
大阪 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-2-14 TEL.06-6209-7000 FAX.06-6209-7011